





## しょうわ風景



昔の新聞にはどんなことが書いてあったのでしょうか？  
(旧漢字・旧かなづかいは改めました)

東京朝日新聞 昭和14年1月1日(日曜日)

生活は正しく朗らかに 国民新儀礼のお手本

### 婦人が帽子を脱ぐ場合

洋装の日本の婦人が帽子をかぶって室内に居たり、神社に参拝したりするのは怪しからぬという意見が時々飛出します。だが、婦人の帽子は装飾品です。帽子を脱ぐことがかえって礼を失するのです。現に宮中儀礼では、天皇陛下の御前でも婦人は帽子を脱がずに謁を賜ります。

神社の前で脱ぐことはかえって礼を失することになり、婦人の帽子はいかなる場合にも脱がないことが儀礼です。

但し、職場にある時、たとえば学校の先生が教壇に立つ時、女事務員が事務室に居る時は脱ぐのが本当です。又、日本座敷に座る時、靴を脱ぐのですから、帽子も「失礼します」といって脱ぐのが正しいのですが、この場合髪のくずれを、人前でなく、直しておくことが礼法です。

(『朝日新聞縮刷版 昭和14年 1月』より)



— 図書室から —

今年(2005年)は戦後60年でした。本、雑誌、新聞、TV、映画などいろいろな形で戦争にふれ、たくさん(2005年)のことを学んだ年(2005年)でした。

\* 年末年始の休館のおしらせ

休館日 2005年12月28日(水)～2006年1月4日(水)

ぶらりらいぶらりい ～図書室にはこんな本があります～ No. 74

2005年12月22日 発行

編集・発行 昭和館 図書室

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-1